

2017年3月期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2017年5月15日

1. 市場環境

世界経済の減速懸念、エネルギー産業向け設備投資の低迷、中国経済の低迷などによる不透明感が継続するなか、国内はゆるやかな拡大基調がつづく

2. 2017年3月期業績

為替ほか外部環境が厳しいなか、引き続き日本国内のインフラ投資需要が業績を下支え
買収案件の入札（落札せず）に要した一時費用、約6億円を計上

売上高	51,141百万円	(前年比 △8.4%)
営業利益	4,208百万円	(前年比 △19.4%)
当期純利益※	1,897百万円	(前年比 △24.0%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

為替レート 平均レート 1ドル = 108.4円

3. 総括

- (1) 売上高は国内はインフラ投資需要を捉え、堅調も、為替の影響などにより未達
- (2) 中期経営計画を推進、業務効率化と収益性改善を継続
- (3) 為替水準、天然資源市場など、外部環境の変化は引き続き予断を許さず

1

2017年3月期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（FY 2013-2017）
- ・ 中期経営計画（FY 2016-2020）

2017年3月期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2016/3期	2017/3期	前期比
売上高	55,821	51,141	△8.4%
営業利益 (営業利益率)	5,221 (9.4%)	4,208 (8.2%)	△19.4%
経常利益 (経常利益率)	4,576 (8.2%)	3,249 (6.4%)	△29.0%
特別利益	—	* 489	
特別損失	366	** 161	
法人税等	1,611	*** 1,695	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	2,497 (4.5%)	1,897 (3.7%)	△24.0%
EBITDA =営業利益+償却費	7,422	6,340	

注 為替レート (2016/3期→2017年/3期) :

USD 120.1円 → 108.4円 CAD 91.8円 → 82.5円 EUR 132.6円 → 118.8円 RMB 19.2円 → 16.4円

* 買収したPWB Anchor社の純資産の評価額が、取得価額を上回ったことによる「負ののれん」発生益を計上

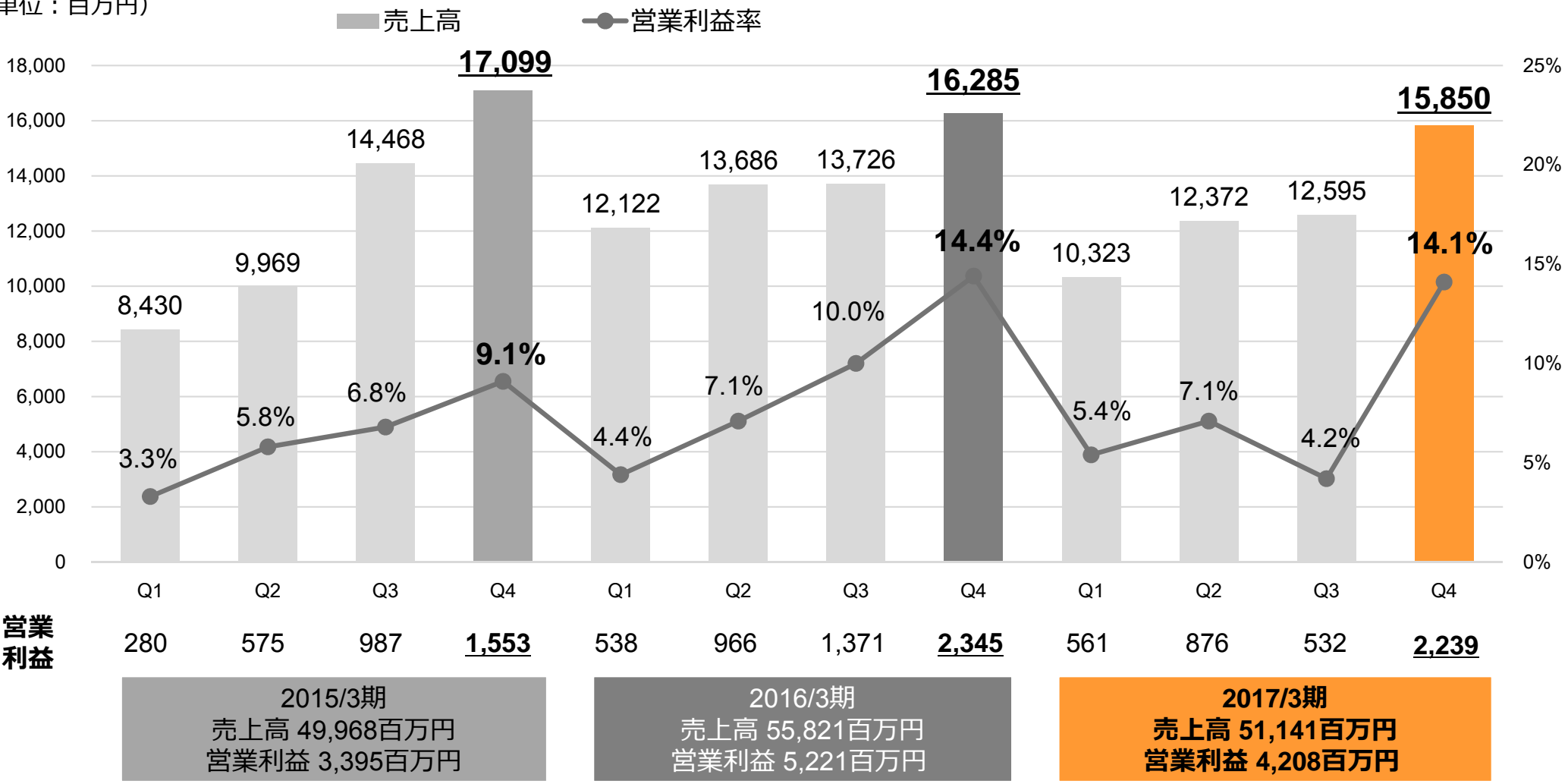
** 台湾子会社の減損損失を計上

*** 法人税等調整額 589百万円 を含む

売上高および営業利益率（四半期比較）

**為替の影響で前年比減収も、足もとは国内・米州事業とも堅調に推移
買収案件の入札（落札せず）に要した一時費用をQ3に計上し減益**

(単位：百万円)



地域別の状況

グローバルに地域分散された事業ポートフォリオを展開

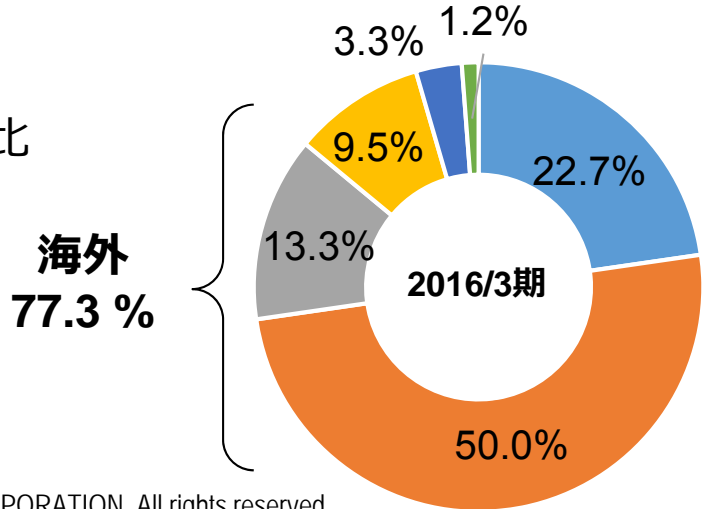
(単位：百万円)	2015/3期		2016/3期		2017/3期		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	49,968	100.0%	55,821	100.0%	51,141	100.0%	△4,680	△8.4%
日本	11,702	23.4%	12,692	22.7%	13,129	25.7%	437	3.4%
米州	21,888	43.8%	27,909	50.0%	24,742	48.4%	△3,166	△11.3%
中国	8,198	16.4%	7,418	13.3%	5,034	9.8%	△2,383	△32.1%
アジア	5,676	11.4%	5,321	9.5%	4,925	9.6%	△395	△7.4%
欧州	1,823	3.7%	1,837	3.3%	1,523	3.0%	△313	△17.1%
その他地域	677	1.4%	642	1.2%	※1,785	3.5%	1,143	178.0%

注 為替レート (2016/3期→2017年/3期) :

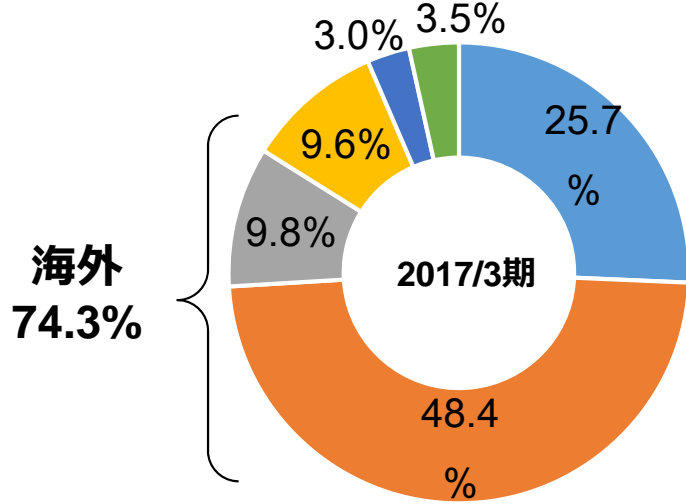
USD 120.1円 → 108.4円 CAD 91.8円 → 82.5円 EUR 132.6円 → 118.8円 RMB 19.2円 → 16.4円

※ Q2より連結開始した豪PWB Anchor社の実績を含む

地域別
売上高構成比



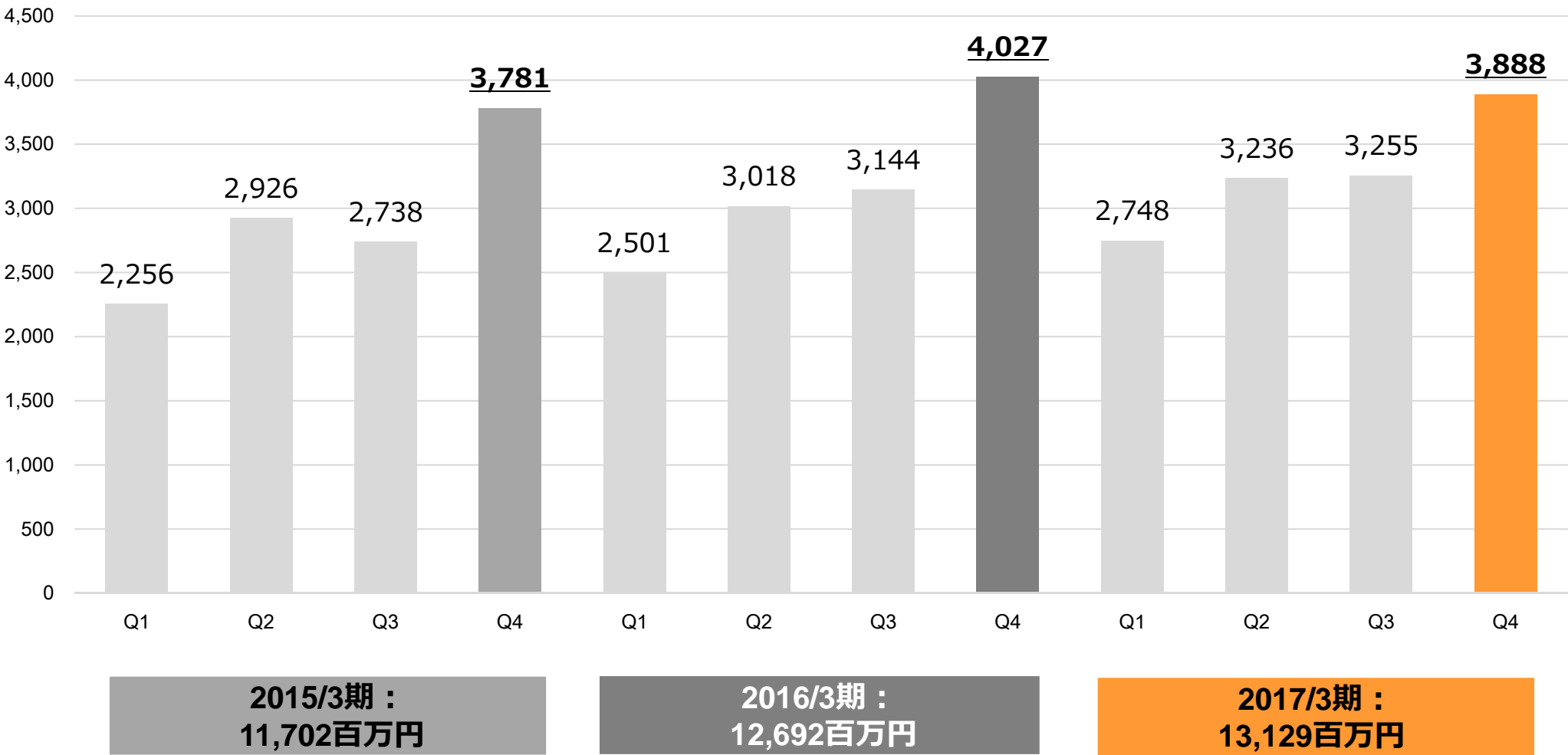
- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他



地域別売上高（日本）

- 電力、橋梁など、インフラ整備向けの需要が顕在化
- 民間設備投資は慎重さが続くも、受注が底堅く推移

(単位：百万円)

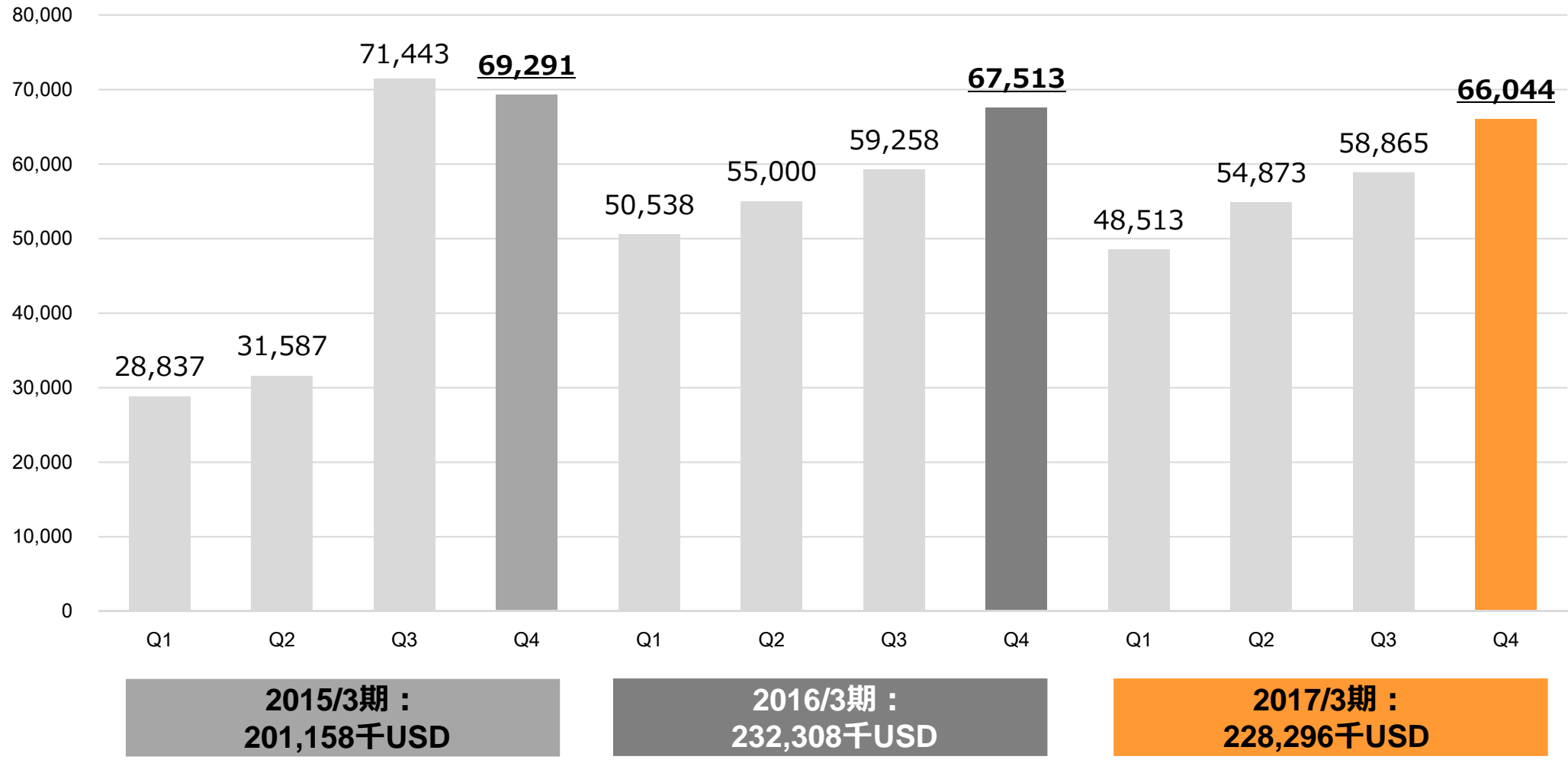


地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 米政権交代など不透明感の高まりから、設備投資に手控え感が継続
- 資源産業向け投資需要が低迷も、チェーン製品等で補い前年比ほぼ横ばいに

（単位：千USD）

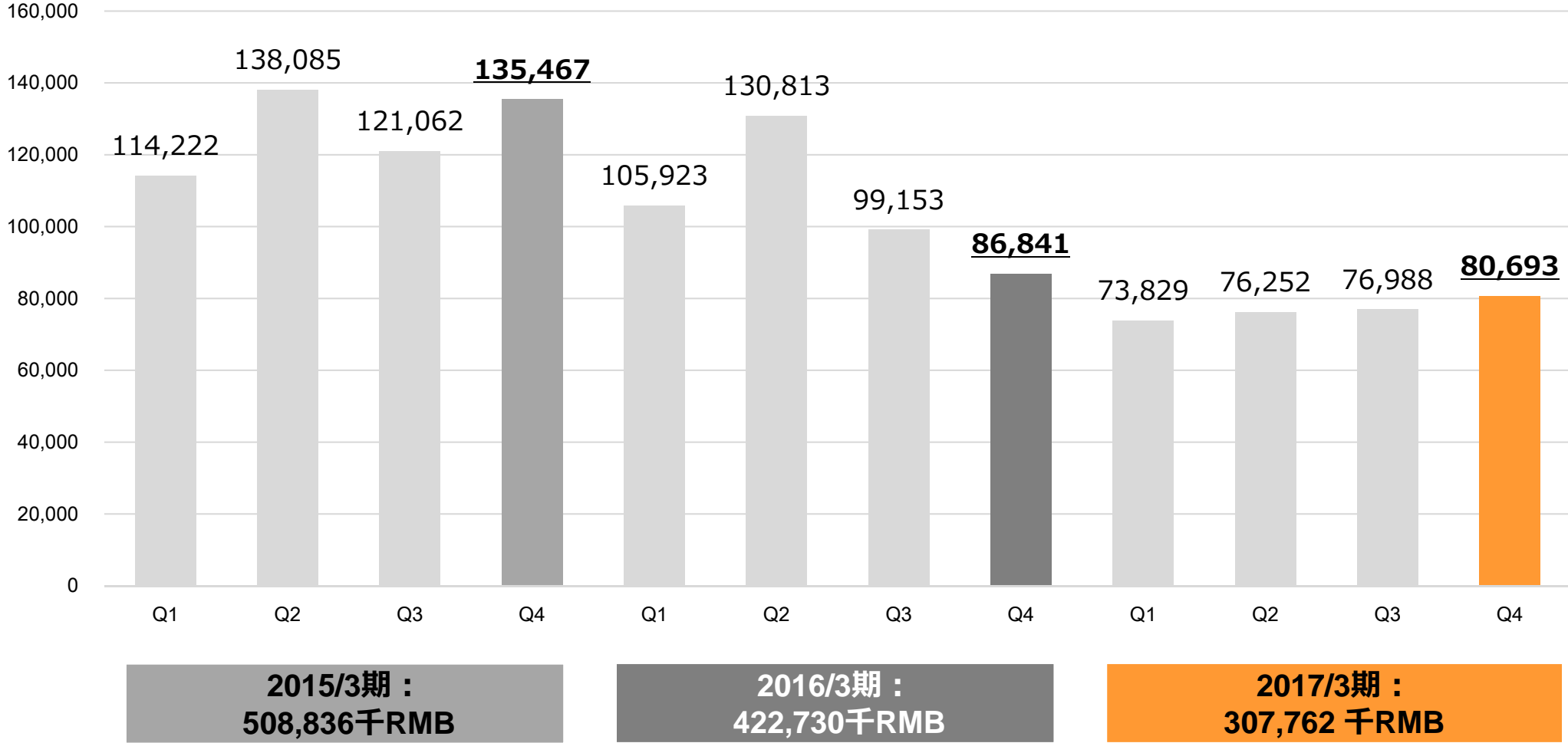


地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

- コスト削減に注力し一定の利益水準は維持
- 足下の需要下げ止まりの兆しあり

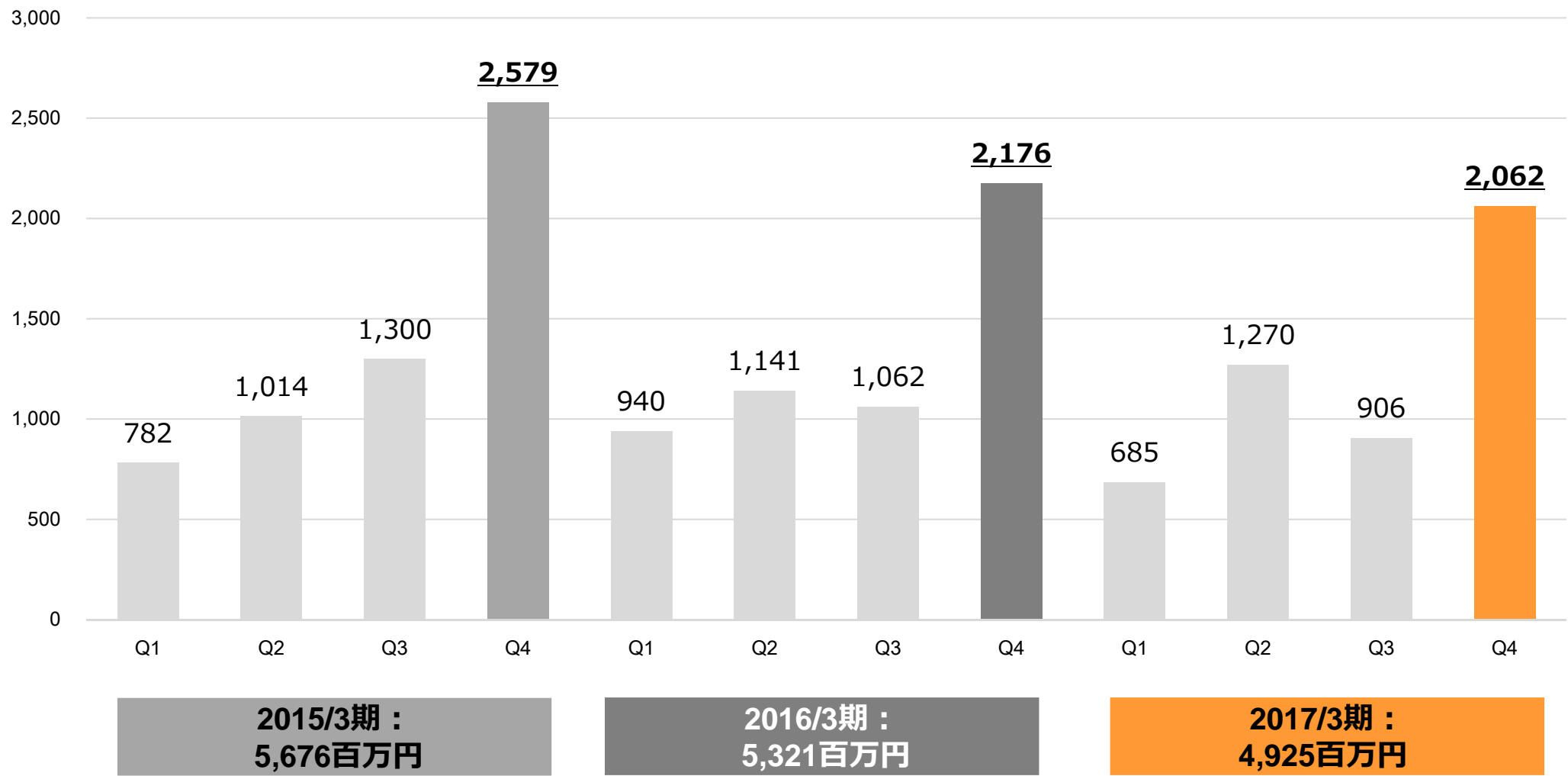
（単位：千RMB）



地域別売上高（アジア）

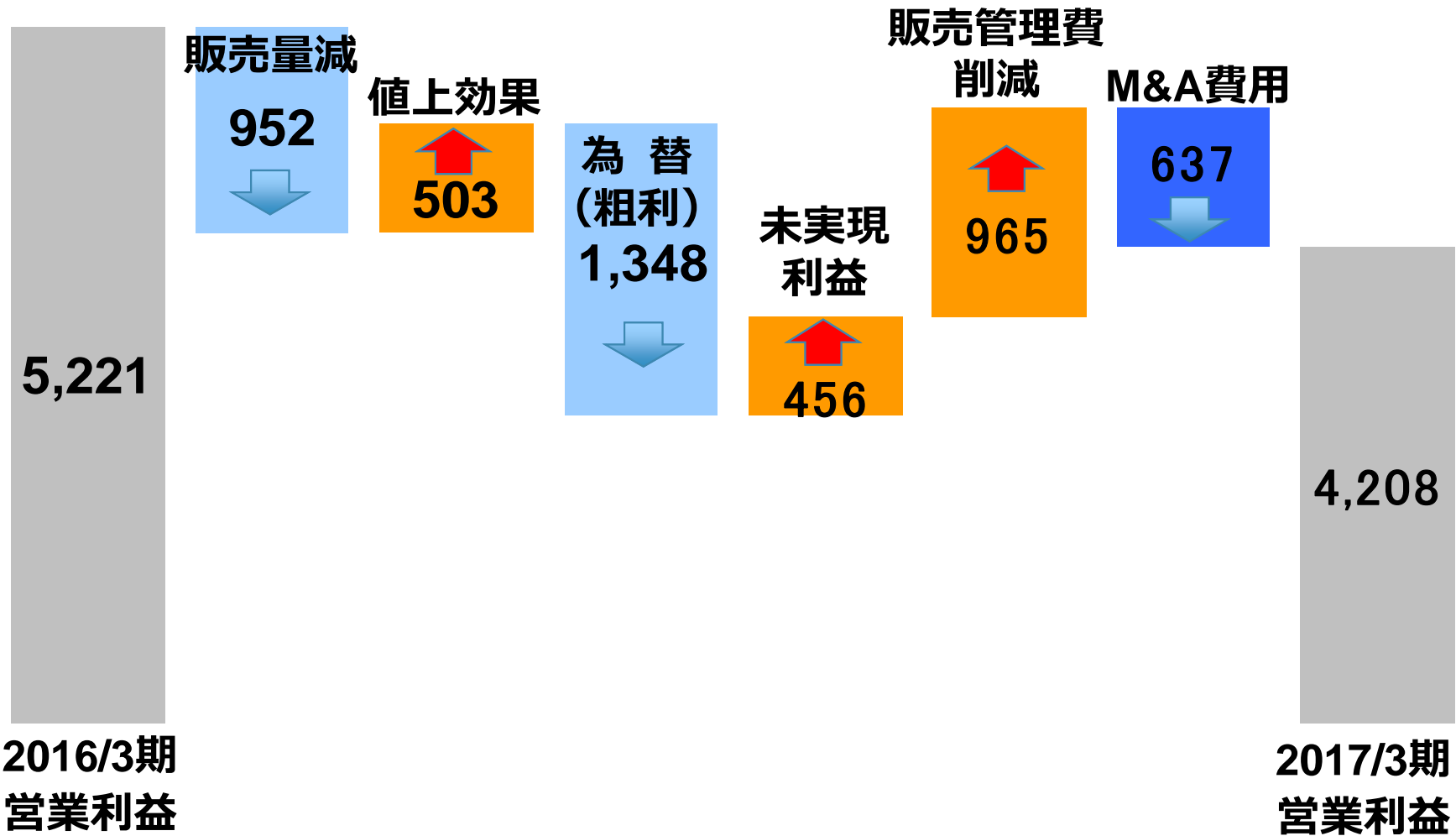
※タイ、韓国は1-12月決算

- 韓国では、フラットパネルディスプレイ向けクリーンルーム用クレーンの受注が好調。
 - 各地域にて利益管理の強化を継続、地域全体で収益性が改善。
- (単位：百万円)



営業利益の比較

(単位：百万円)



2017/3期 連結貸借対照表

単位：百万円	2016/3期	2017/3期	増減額
流動資産	37,599	37,960	360
現金・預金	8,529	9,069	540
受取手形及び 売掛金	11,761	11,139	△621
たな卸資産	13,852	15,402	1,549
その他	3,456	2,348	△1,107
固定資産	23,040	22,177	△863
有形固定資産	11,901	11,948	47
無形固定資産	7,896	7,658	△238
投資その他資産	3,242	2,569	△672
資産合計	60,639	60,137	△502

単位：百万円	2016/3期	2017/3期	増減額
流動負債	15,072	20,023	4,951
支払手形及び 買掛金	5,301	5,438	137
短期借入金	4,595	9,879	5,283
その他	5,175	4,705	△469
固定負債	19,527	18,874	△653
長期借入金	14,687	14,298	△388
その他	4,839	4,575	△264
純資産合計	26,040	21,239	△4,800
負債純資産合計	60,639	60,137	△502

2017年3月期 連結キャッシュ・フロー

	2016年 3月期	2017年 3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	4,502	3,981	△521
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,572	△2,142	1,430
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,900	△1,148	751
現金および現金同等物 に係る換算差額	△285	△152	133
現金および現金同等物 の増減額	△1,256	538	1,794
現金および現金同等物 の期末残高	8,521	9,059	538

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 :	3,578
減価償却費 :	1,792
のれん償却額 :	338
法人税等の支払額 :	△1,662

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 :	△1,740
無形固定資産の取得による支出 :	△653

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金による純増 :	5,057
長期借入れによる収入 :	3,000
長期借入金の返済による支出 :	△2,973
配当の支払額 :	△651
自己株式の取得による支出 :	△5,462

1

2017年3月期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（FY 2013-2017）
- 中期経営計画（FY 2016-2020）

2018年3月期の見通し

日 本



市場環境

- 民間設備投資が継続し、ゆるやかな成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新製品の導入、品揃えを拡大を継続
- クレーンビルダーとの連携強化

米 州



市場環境

- 需要は幅広い産業で底堅い推移を期待
- エネルギー関連産業の回復、インフラ関連投資に期待

取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

2018年3月期の見通し

中 国



市場環境

- 景気の不透明感は続くものの、底打ち感が期待される

取り組み

- グローバル製品の生産拡大
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

- 依然として設備投資の回復が認められず

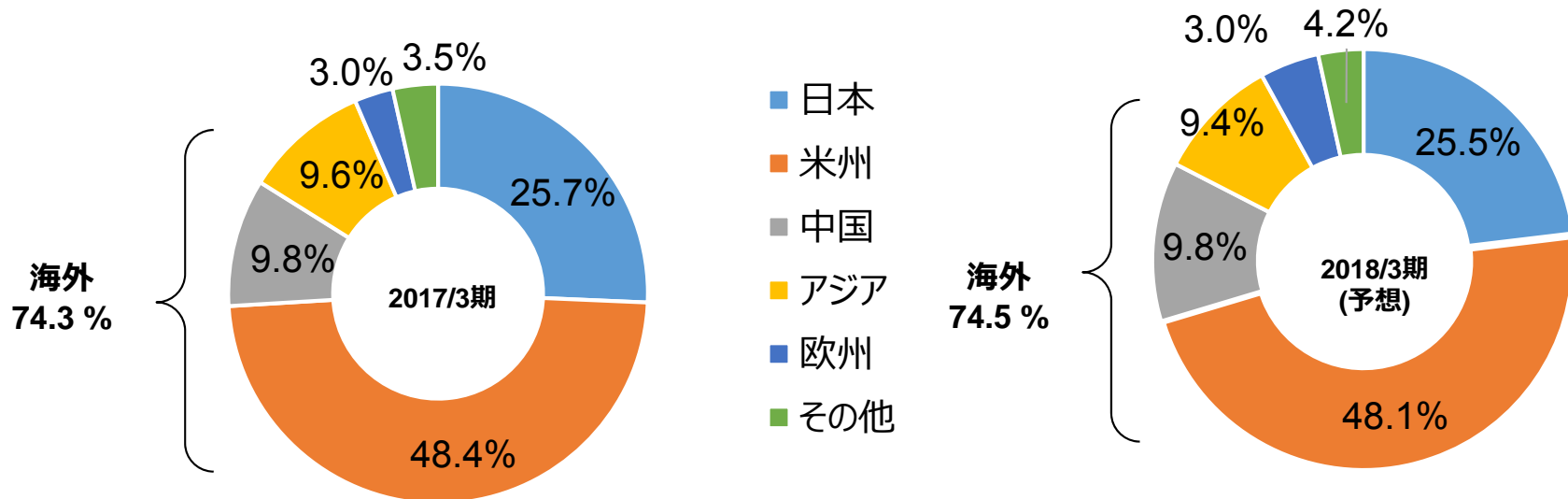
取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化

2018年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2017/3期		2018/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	51,141	100.0%	53,000	100.0%	1,858	3.6%
日本	13,129	25.7%	13,500	25.5%	371	2.8%
米州	24,742	48.4%	25,500	48.1%	758	3.1%
中国	5,034	9.8%	5,200	9.8%	166	3.3%
アジア	4,925	9.6%	5,000	9.4%	74	1.5%
欧州	1,523	3.0%	1,600	3.0%	77	5.1%
その他地域	1,785	3.5%	2,200	4.2%	415	23.2%

地域別
売上高構成比



2018年3月期 業績予想

(単位 百万円)	2017/3期	2018/3期	前期比
売上高	51,141	53,000	3.6%
営業利益 (営業利益率)	4,208 (8.2%)	4,400 (8.3%)	4.5%
経常利益 (経常利益率)	3,249 (6.4%)	3,700 (7.0%)	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,897 (3.7%)	2,500 (4.7%)	31.7%
EBITDA =営業利益+償却費	6,340	7,000	

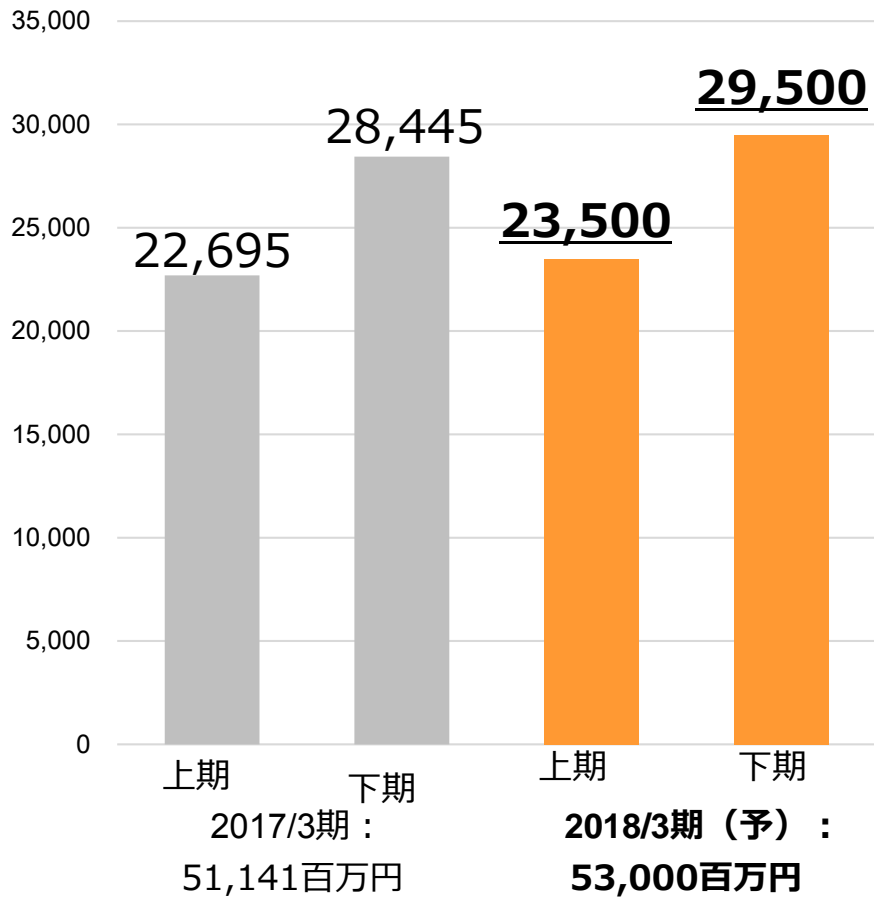
注 為替レート(2017年3月期→2018年3月期) :

USD 108.4円→**110.0円** CAD 82.5円→**80.0円** EUR 118.8円→**120.0円** RMB16.4円→**17.0円**

米国、欧州の情勢に不透明感はあるものの、緩やかな成長を期待。
資源価格は戻り基調だが一進一退。鋼材の一段高を懸念

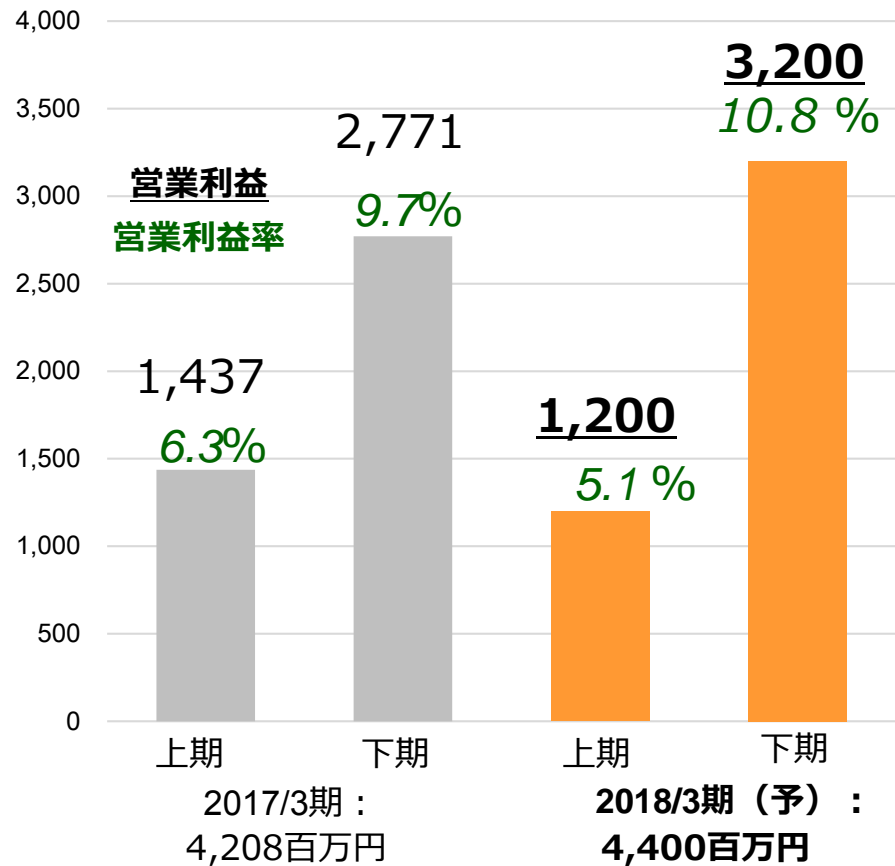
売上高

(単位：百万円)



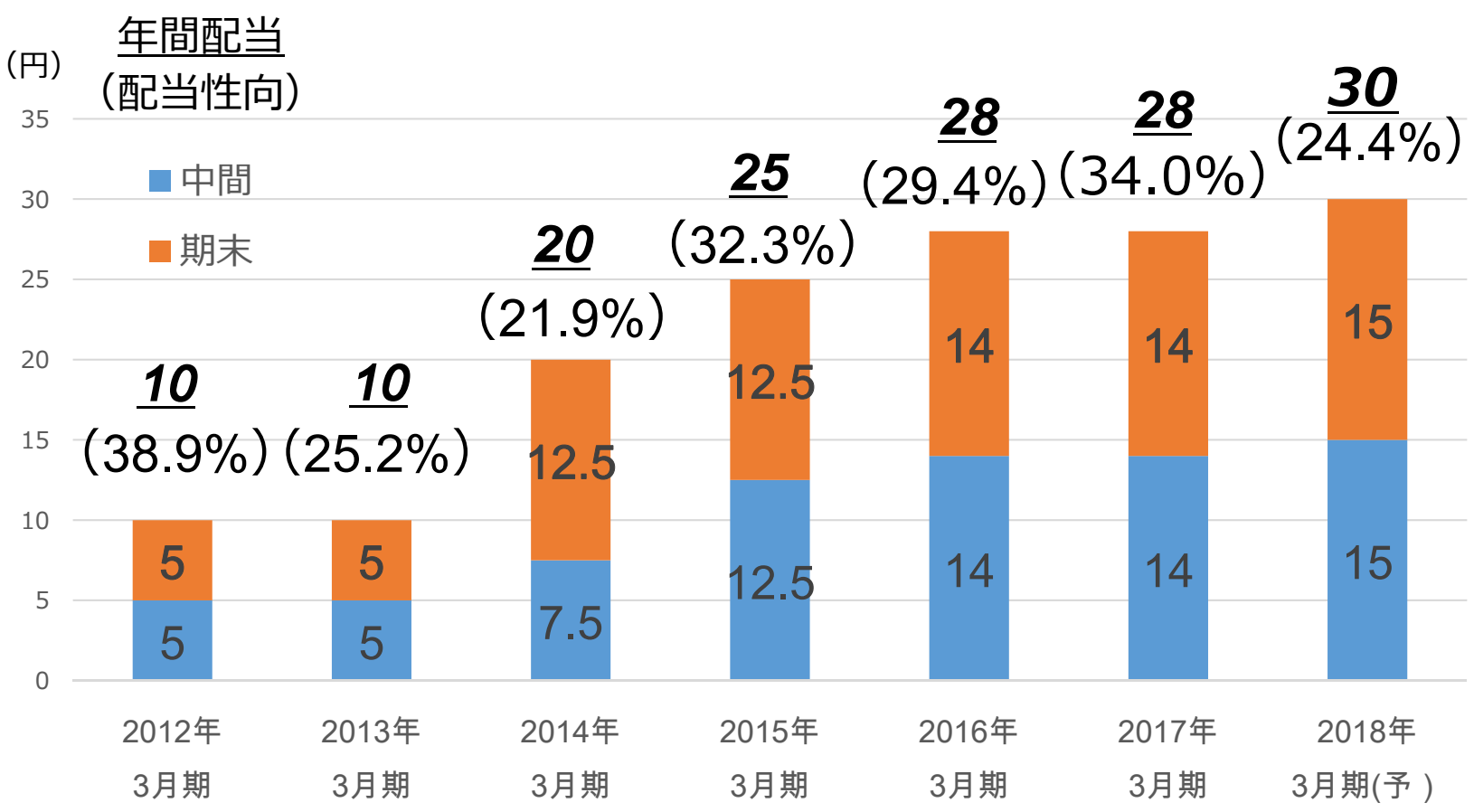
営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



株主還元方針／配当予想

**配当性向20%以上を目処に
年間配当額 30円 を予定**



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014年3月期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2017年3月期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

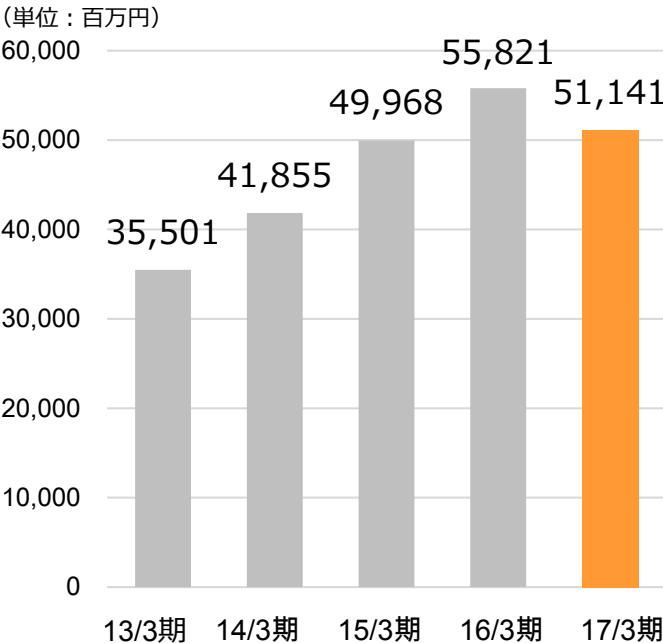
3

参考資料

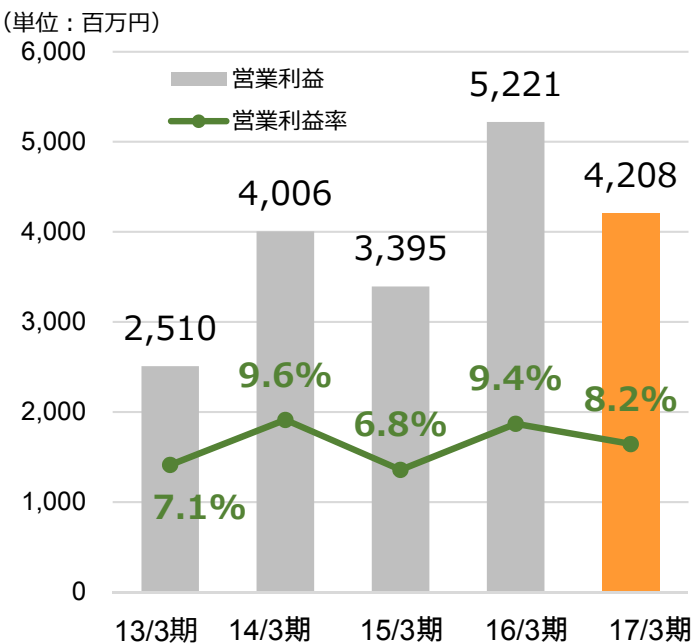
- 過去5期分の業績・財務情報（FY 2013-2017）
- 中期経営計画（FY 2016-2020）

業績・財務情報

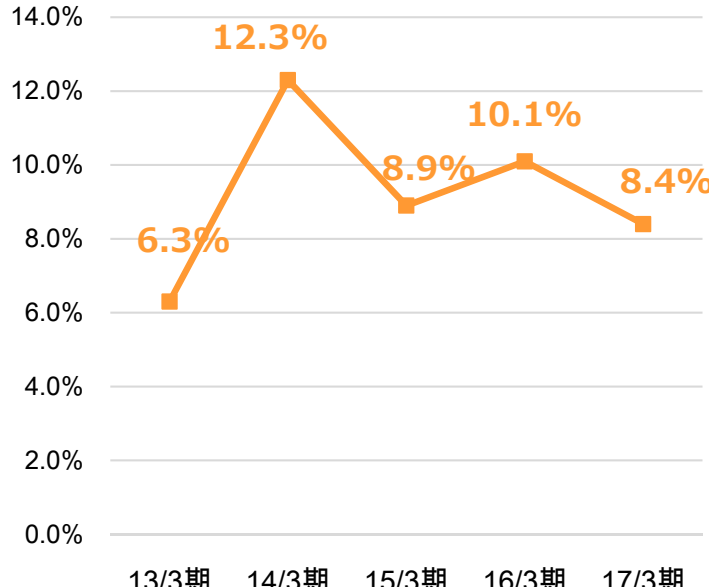
売上高



営業利益・営業利益率

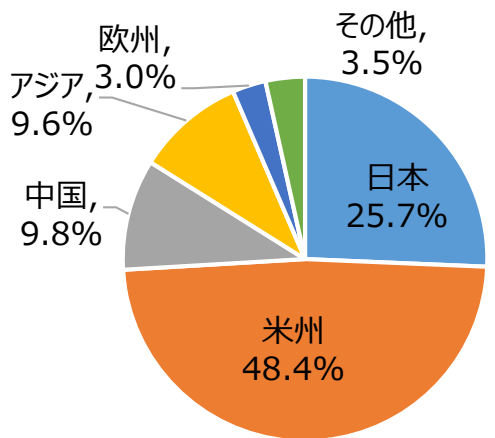


ROE



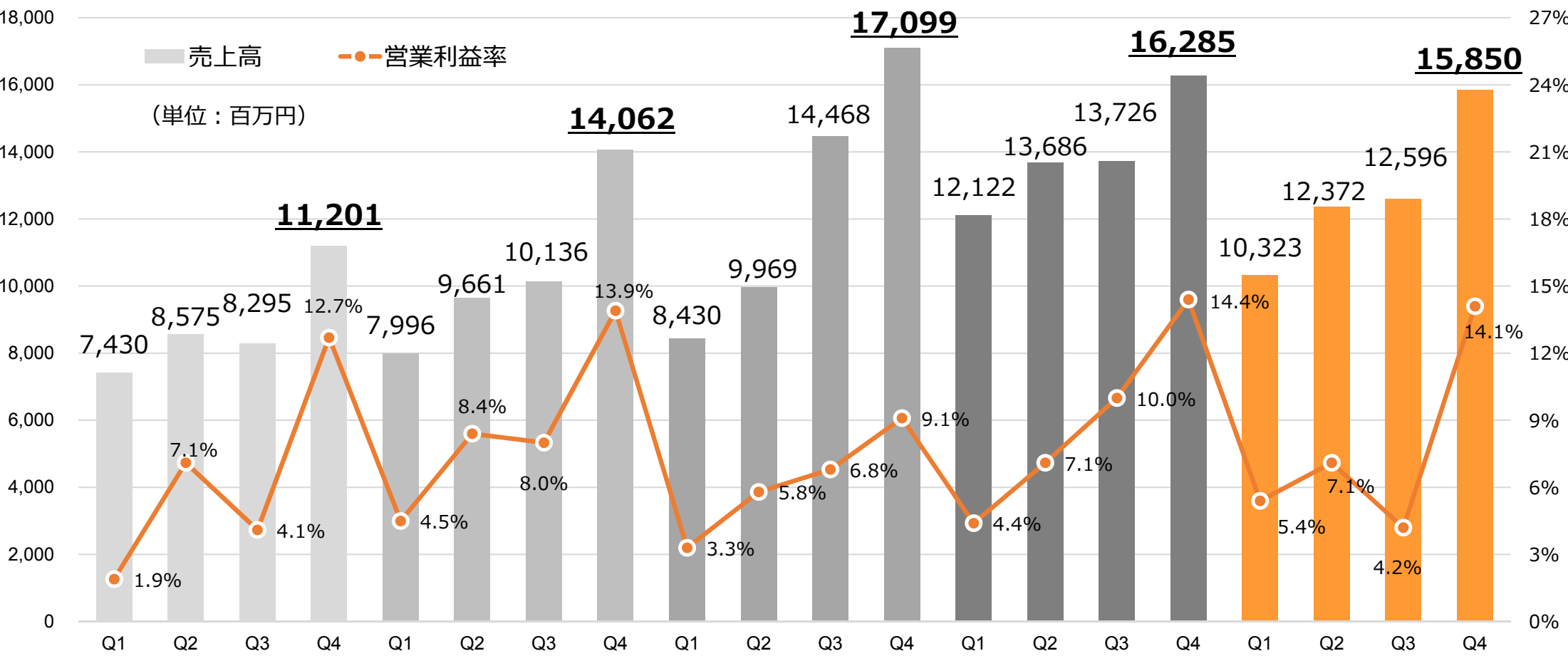
地域別売上高比率

(2017年3月期)



	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
海外比率	67.1%	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%
為替平均レート					
USD	83.1円	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円
CAD	82.9円	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円
EUR	107.1円	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円
RMB	12.6円	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円
設備投資額(百万円)	1,520	2,440	1,408	2,013	2,239
減価償却費(百万円)	774	954	1,311	1,814	1,792

売上高および営業利益率（四半期比較）



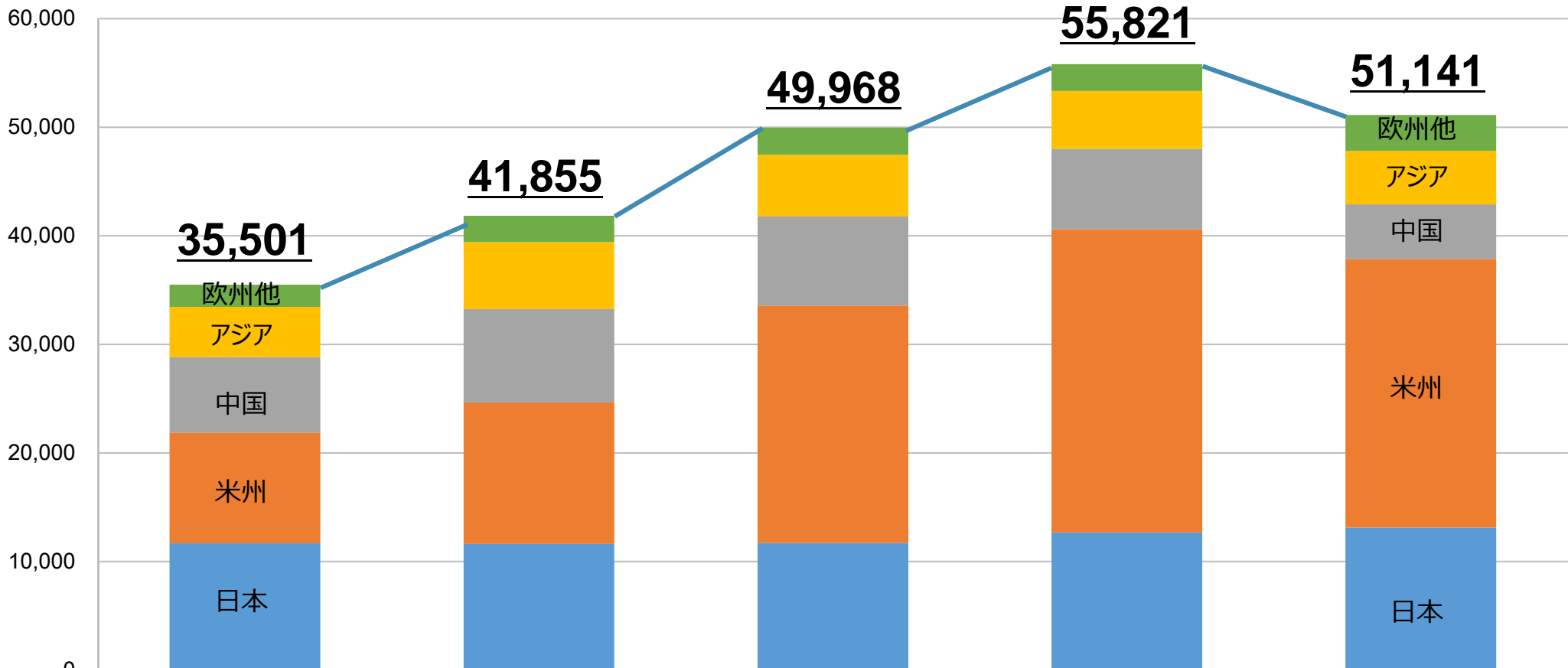
営業利益

139	609	343	<u>1,419</u>	360	806	809	<u>2,030</u>	280	575	987	<u>1,553</u>	538	966	1,371	<u>2,345</u>	561	876	532	<u>2,239</u>
-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

2013/3期 売上高 35,501百万円 営業利益 2,510百万円				2014/3期 売上高 41,855百万円 営業利益 4,006百万円				2015/3期 売上高 49,968百万円 営業利益 3,395百万円				2016/3期 売上高 55,821百万円 営業利益 5,221百万円				2017/3期 売上高 51,141百万円 営業利益 4,208百万円			
---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--

地域別売上高推移

(単位：百万円)



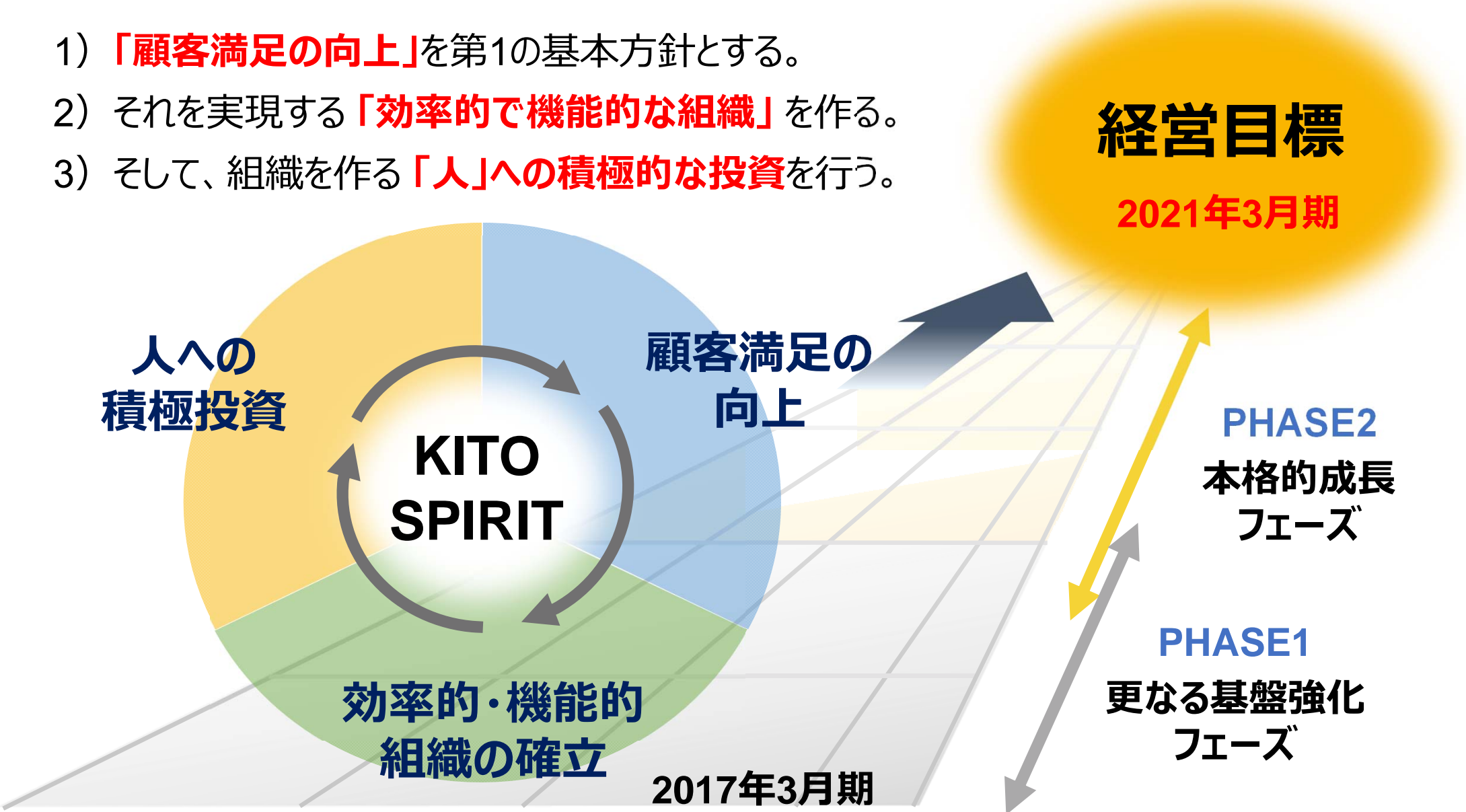
	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
■ 欧州他	2,035	2,424	2,500	2,479	3,308
■ アジア	4,626	6,168	5,676	5,321	4,925
■ 中国	6,994	8,604	8,198	7,418	5,034
■ 米州	10,163	13,034	21,888	27,909	24,742
■ 日本	11,679	11,625	11,702	12,692	13,129

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

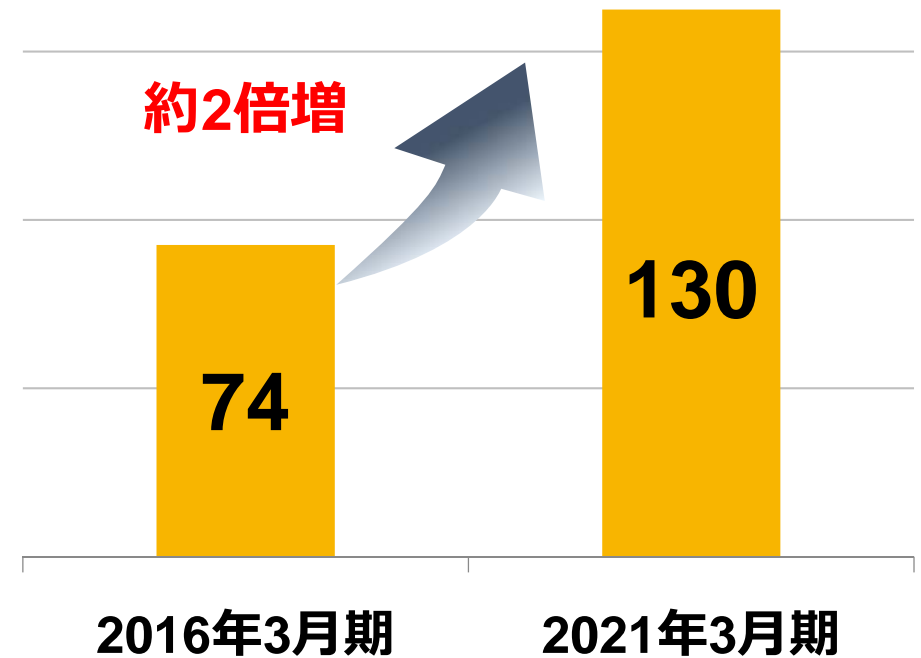
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

Financial Target

EBITDA



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

